

のんた

21世紀の食料・環境・ふるさとを考えよう!

●巻頭特集

先人の宝を

次世代へ残していこう!

やまぐちの

棚田20選

田んぼの役割を
伝えていこう。

入選作品のご紹介

第11回食料・環境・ふるさと

写真コンテスト

12

山口の土地改良

vol.12

Spring 2010



食料・環境・ふるさとを考える

山口県地球人会議

先人の宝を

次世代へ残してらこう！

やまぐちの

棚田20選

山口県には、水田面積の約20%を占める約9,000haにも及ぶ棚田があります。近年、棚田を見直そうという機運が高まる中、県では、平成22年3月、「やまぐちの棚田20選」を選定しました。その選定の背景についてご紹介します。

棚田の機能とその現状は？

棚田は近年、農業生産の場としてだけでなく、洪水防止機能、多様な生き物の生息空間としての機能など、多面的な機能があることが見直されるようになってきました。しかし、山口県内では、中山間地の過疎

化や高齢化が進み、地域の農業者の手だけで棚田で農業を続けることが厳しくなり、棚田の荒廃が進んでいます。

棚田は生産条件の視点から見れば効率は悪いものの、山間部において上質な米づくりの場であることに加えて、多面的な機能からみても、棚田の喪失が進めば、下流域の都市部などにもさまざまな影響が生じることが懸念されます。

保全への取り組みは？

棚田の荒廃が進む中、近年、棚田を地域の大切な財産として、次世代に引き継いでいこうと、地域住民による保全活動が行われる地域が増えてきました。そうした地域では、棚田オーナー制度を導入したり、体験交流会などのイベントを行ったりして、都市住民の理解や協力も得ていこうといった取り組みが行われています。

「やまぐちの棚田20選」の趣旨は？

県内各地での棚田の保全活動を受けて、県では、棚田の紹介を通じて、県内各地で取り組まれている棚田保全活動の推進と棚田を守る必要性を、もっと広く県民に呼びかけるため、県内各地の棚田から、適切な保全活動が行われ地域に親しまれてきた棚田を「やまぐちの棚田20選」として選定することとし、平成22年3月、21地区を選定しました。



【棚田の多面的な機能を見直そう！】

機能1 米作りの場

棚田では、昼夜の寒暖差が大きいことや源流に近い沢水を利用して、おいしい上質米を作ることができます。

機能4 美しい農村風景の形成

棚田は四季の変化に富んだ美しい景観と、きれいな水、空気、安らぎ、温もりも与えてくれます。

機能2 洪水や土砂流出の防止

棚田は雨水をダムのように貯め、また、山や河川の水源域からの水を受け止め、長い時間をかけて下流に流すことによって、洪水や土砂崩壊を防いでいます。

機能5 多様な動植物の育成

棚田は、水路や畦畔、里山とともに多様な環境を構成し、メダカやドジョウといったさまざまな生き物をはぐくむ場ともなっています。

機能3 地下水の供給

棚田に貯められた水は、地下にゆっくりと浸透し、地下水を潤し、伏流水となり、下流域での水利用を豊かにします。つまり棚田は「水源かん養」の機能も持っているのです。



やまぐちの 棚田20選

選定基準

1. 地形勾配が概ね20分の1以上の階段状の水田で、美しい景観が保全されている地域。
2. 概ね1ha以上の団地を構成。営農（維持管理）が行われ、今後もその取り組みが継続して行われる見込みであること。
3. 地域特性を活かした主体的な保全活動に取り組んでいる地域、または予定している地域。

選定方法

1. 市町が64地区を推薦。
2. 平成21年9月～10月、インターネット及び「きらら物産展」にて県民投票。
3. 「やまぐち棚田保全協議会」にて1次選考。
4. 地区の現地調査。
5. 「景観の美しさ」や、今後の棚田保全活動の拡大と定着に向けて「活動組織がしっかりしている」地区を対象に平成22年3月、21地区を選定。

一覧表

- 岩国市：①上沼田地区の棚田 ②本谷地区の棚田
 柳井市：③伊保庄地区の棚田
 平生町：④日向平地区の棚田
 周南市：⑤小畑地区の棚田 ⑥四郎谷地区の棚田
 ⑦井谷地区の棚田 ⑧大道理鹿野地区の棚田
 ⑨中須北地区の棚田
 山口市：⑩吉敷畑地区の棚田
 ⑪三谷地区いしがきの棚田
 ⑫串地区いしがきの棚田
 防府市：⑬久兼上地区の棚田
 美祢市：⑭豊田前一区地区の棚田 ⑮半田地区の棚田
 ⑯大石地区の棚田
 長門市：⑰中ノ森地区の棚田 ⑱東後畑地区の棚田
 ⑲青海地区の棚田
 萩市：⑳宇津地区の棚田
 阿武町：㉑木与地区の棚田

Yamaguchi
map



1 上沼田地区の棚田 岩国市錦町須川上沼田

【地域の特徴】

標高400mを超える山間部。沼田ふれあい会などが地域で共同してさまざまな行事に取り組み、毎年10月末には、帰省者も一緒に「沼田ふれあいまつり」を運営しています。

◎保全活動

中山間地域等直接支払制度などを通じて、地域住民が共同で棚田保全・営農活動に取り組み、まつりに向けた草刈りや作物栽培なども積極的に行っています。



3 伊保庄地区 (福井、太古庵)の棚田 柳井市伊保庄福井、伊保庄太古庵

【地域の特徴】

瀬戸内海に突き出た半島にある急峻な棚田地域。

◎保全活動

牛の放牧や中山間地域直接支払い制度等を活用。



2 本谷地区 (茅原、岡の迫)の棚田 岩国市本郷町本谷

【地域の特徴】

羅漢山などの高い山々に囲まれた地。山代本谷神楽の里ともいわれ、地元の保存会によって神楽が受け継がれています。

◎保全活動

住民の多くが山代本谷神楽保存会のメンバーで、畦畔の草刈りなど、共同で棚田を維持管理。また、中山間地域等直接支払制度にも取り組んでいるほか、多くのほ場では、天日によるハゼ干しを行っています。



5 小畑地区の棚田 周南市小畑

【地域の特徴】

市中心部から車で15分の近郊農村地域。独特の棚田の石垣や、名水「金明水」の地としても知られています。

◎保全活動

平成17年「小畑の地域づくりを考える会」を設立。翌年「小畑地域づくりビジョン」を策定し、保全活動を開始。平成19年「おばた金明水と棚田の会」と改称。都市住民との農業体験交流会や、荒廃田の草刈、地域紹介のマップ作りなどを実施。棚田オーナー制度も導入しています。



4 日向平地区の棚田 平生町大字大野南

【地域の特徴】

風力発電の風車がある大星山にあります。「鯉のぼり祭り」「ソーメン流し&焼肉会」、地域で捕獲したイノシシ肉を利用した「バーベキュー大会」など、交流活動も盛んです。

◎保全活動

農地・水・環境保全向上対策や中山間地域等直接支払制度などを活用し、農道、水路などの草刈り・補修、休耕田での牛の放牧、レンゲの植え付けなど、棚田の保全活動を精力的に行っています。



6 四郎谷地区の棚田

周南市大字戸田四郎谷

【地域の特徴】

三方を山にかこまれ、南側が海にひらけた入江にある地域。山・川・田畑・人家・海が一体になった美しい風景に魅かれ、撮影に来る人も少なくありません。

◎保全活動

四郎谷環境保全会が中心となって地域ぐるみで農地を保全。毎月の全員集会で論議して決めた方針をもとに共同作業を年4回行い、棚田保全や施設の改良を行っています。



8 大道理鹿野地区の棚田

周南市大字大道理鹿野地

【地域の特徴】

世帯数は約11戸（農家6戸）。市中心部から車で約25分。平成7年度までに農用地有効利用モデル集落整備事業では場整備を行い、美しい棚田が多く残っています。

◎保全活動

棚田の荒廃が進み、平成20年に「大道理百笑倶楽部」を結成。共同作業による川の清掃、農道沿いの一斉草刈り、荒廃田の草刈り、アジサイなどの植栽も行っています。今後は棚田の畦畔法面部に防草シートを布設して芝桜、雑木林に桜やモミジを植栽して特長を打ち出していくほか、安心・安全な農作物づくり、収益性の高い特産品づくり、大道理鹿野地区「憩いと交流の場づくり」援農型農業推進・体験交流を検討中です。



9 中須北地区の棚田

周南市中須北

【地域の特徴】

旧周東町、旧美川町と接する標高300mの中山間盆地にあります。

◎保全活動

「棚田清流の会」が中心となって休耕田への花の植え付け、農業体験交流会、棚田オーナー制度などを実施。農業体験交流会では、米作りをはじめ、野菜やソバの植え付けや収穫、ソーメン流し、椎茸のこま打ちなど多彩な活動を実施。休耕田で作った餅米を用い、イベントで「棚田餅」を作って販売し、会の活動資金にも充てています。



10 吉敷畑地区の棚田

山口市吉敷

【地域の特徴】

山口市から美祢市へ至る国道沿いにあり、西鳳凰山の麓の傾斜地に棚田が築かれています。吉敷畑は室町時代末期には集落が形成されていたと伝えられ、平成13年にほ場整備するまで700枚以上の棚田がありました。集落の高低差は200m近く。今も急傾斜地に150枚ある棚田で米づくりが行われています。

◎保全活動

「吉敷畑営農生産組合」や「吉敷畑みどりを守る会」が棚田の畦畔や法面の定期的な点検を行い、修繕に努めています。また、自治会と連携し、休耕地を活用して花壇に植栽することも計画中です。



11 三谷地区いしがきの棚田

山口市徳地三谷

【地域の特徴】

山口市徳地八坂から周南市鹿野への県道沿い、佐波川の支流・三谷川の両岸に石垣の棚田があり、奈良時代からあるという石積み千枚棚田もあります。

◎保全活動

平成14年に「三谷いしがき棚田会」が発足し、「棚田オーナー制度」を導入。農作業だけでなく、茶摘み、虫祭り、歩こう大会、しめ縄づくり、そば打ち体験など、季節ごとにイベントを行い、都市住民との交流を積極的に行っています。



12 串地区いしがきの棚田

山口市徳地鯖河内

【地域の特徴】

山裾に向かって、石垣で築かれた美しい棚田が広がっています。「ゆたかな串を育てる会」が中心となってイベントを行い、ホテルの夕べや夏祭りを通じて都市住民との交流も進めています。「にほんの里100選」にも選ばれています。

◎保全活動

「ゆたかな串を育てる会」が毎年開催する「さわやかウォーキングin串」では、棚田を見渡せる道を歩くことにより、棚田の素晴らしさを数多くの都市住民の参加者に伝えています。また、中山間地域等直接支払制度に取り組み、棚田保全と併せて、農地に菖蒲を植栽して景観保全にも努めています。



13 久兼上地区の棚田

防府市大字久兼

【地域の特徴】

佐波川水系の久兼川に並行するように耕作地があり、棚田のほとんどに棚田を守るようにして埴山神社があり、今も春・夏・秋と祭りが行われています。

◎保全活動

水路・農道等の維持管理共同作業を行い、耕作地の機能を維持しています。



やまぐちの
棚田20選



14 豊田前一区地区の棚田

美祿市豊田前町一区

【地域の特徴】
25戸、人口69人。木屋川水系日野川の上流、山林の谷間に沿って広がる棚田地帯です。米づくりが主で、一部の山林では栗の栽培も行っています。また、この地区は、市指定史跡「石屋形羅漢山磨崖仏」があることでも知られています。

◎保全活動

中山間地域等直接支払制度や農地・水・環境保全向上対策事業を活用しながら棚田の保全に努めています。

15 半田地区の棚田

美祿市秋芳町嘉万半田

【地域の特徴】
厚東川の源流、八代地域にあり、6月には八代ほたる祭り、7月下旬からは「秋芳白糸の滝」でソーマン流しが行われ、多くの観光客が訪れます。

◎保全活動

中山間地域等直接支払制度、農地・水・環境保全向上対策などの事業を取り入れ、農地、水路、農道の維持管理を行っています。



やまぐちの 棚田20選



16 大石地区の棚田

美祿市美東町綾木大石

【地域の特徴】
美祿市の最東端、山口市と萩市に接する西鳳山麓にある34戸（農家29戸）人口87人の集落です。ほ場整備を機に水稲の基幹作業受託組織「大石営農組合」を設置し、営農に取り組んでいます。近年、地区の集会所である万福寺の境内を整備し、桜のシーズンには、地区住民や国道435号を行く人々の目を楽しませています。

◎保全活動

中山間地域等直接支払制度や農地・水・環境保全向上対策を活用し、棚田の保全活動を行っています。



17 中ノ森地区の棚田

長門市油谷

【地域の特徴】
向津具半島に位置し、美しい白い砂浜とサーフィンのスポットとして知られる大浜海岸を見下ろせる地にあります。棚田の用水には、共同のため池を利用していますが、用水の確保に毎年苦労する水田もあります。また、ここは地すべり防止指定地域で、ため池などの共同管理や水田の耕作は災害の未然防止に大きな役割を果たしています。日本海からの風を防ぐため、昔から畦にシヤシャキ（ヒサカキ）の木が植えられ、その暴風垣と棚田と海岸線によって美しい景観が形成されています。

◎保全活動

中山間地域等直接支払制度を活用し、棚田や用排水路、農道などを共同で維持管理しています。草刈りなどには、集落内の非農家の方にも参加してもらい、地域ぐるみで棚田の保全活動に取り組んでいます。

18 東後畑地区の棚田

長門市油谷後畑

【地域の特徴】
向津具半島にあり、日本海に浮かぶイカ釣り船の漁火と棚田に夕日が照り映えた景色が美しく、平成11年、農林水産省「日本の棚田百選」に選ばれました。

◎保全活動

中山間地域等直接支払制度や農地・水・環境保全向上対策事業を活用し、共同で、ため池や用排水路、農道等を維持管理。棚田米のブランド化や但馬牛の導入による高級肉質和牛の産地づくりを進め、油谷但馬牛の放牧は耕地保全にもつながっています。



19 青海地区の棚田

長門市仙崎青海

【地域の特徴】
青海島の南西部に位置し、眼下には、金子みすゞが詩にうたった「波の橋立を見下ろせませ」が主な農産物はお米と菊やユリなどの花き。用水は青海湖の水を汲み上げて利用し、青海地区の営農組合が中心となって道路・水路を共同で維持管理しています。青海湖と深川湾と棚田が織り成す景観は美しく、特に水面に夕日が反射して輝く光景は見る人を魅了します。

◎保全活動

遊休農地をサツマイモの植え付けや収穫体験といった都市住民との交流活動の場に提供したり、高齢化や過疎化が進んで耕作が困難になっている農地に営農組合がコスモスなどの景観作物を植えたりして、農地の維持に努めています。



20 宇津地区の棚田

萩市見島宇津

【地域の特徴】
萩市の孤島、見島にある棚田地帯。棚田からは日本海が一望できます。水不足に悩まされており、地下水をくみ上げたり、上流の砂防堰堤に貯水するなど、貴重な農業用水を有効利用するための様々な工夫を行っています。

◎保全活動

中山間地域等直接支払制度を活用して、棚田を保全。集落協同で農地、農道、水路等の保守管理を実施。農道にひまわりを植栽するなど景観形成にも努めています。



21 木与地区の棚田

阿武町大字木与

【地域の特徴】
山腹に形成する棚田は、海岸沿いに走る国道191号からも見上げることができ、また棚田からは日本海が見渡せ、天気の良い日には沖合の見島も望めます。田んぼに水が張られた後、田面に映る夕日は感動ものです。

◎保全活動

農家のほとんどが兼業農家で、高齢化も進む中、鳥獣被害対策及び水路、道路の維持管理責任者を置くとともに、農家全戸が協力して維持管理作業を実施。機械の共同作業及び担い手への作業委託や、無人ヘリ防除の作業委託も進めています。



Photography
contest

入賞作品のご紹介



山口県知事賞
『夕暮れの帰路』 宇部市小野
幡生佳彦 (宇部市)

暮れの押し迫った頃、鈴なりの残り柿の木を見つけ、撮影に取り掛かったら運良く野良仕事を終えて帰る人が通られたので、撮影させていただきました。



山口県地球人会議会長賞
『楽しい収穫日』 下関市豊北町
磯部彰六 (下関市)

少子化で子どもの少ない中山間地。手伝いに帰り、子ども達も一緒になって賑やかに楽しい収穫日の様子を撮影しました。



水土里ネット山口会長賞
『里山の春』 美祿市秋芳町
亀山正生 (山口市)

里山の原風景を見ているようでした。
(表紙の写真)



山口新聞社賞
『先生も泥ん子』 川上小学校下の田圃
田村幸雄 (宇部市)

先生達も泥ん子遊びで大変だ。子ども達の最高の笑顔で元気が出るでしょう。



中国新聞防長本社賞
『川の恵み (早春)』 下関市豊北町
谷山 昇 (下関市)

風味の良さは県下一品といわれる粟野川の青のり。近年収穫量は減ったが、周辺の組合員達が解禁日の朝、冷たい川に入り腰までつかり、道具を使い器用に川底をさらえ青のりを採集していた。身震いしながらシャッターを切った。早春の風物詩の一つだ。



Prize
入選

『玉ねぎの収穫』 山口市秋穂二島
永富賢治 (宇部市)

広大な玉ねぎ畑で、収穫作業が行われていました。下は収穫前の畑です。段ボール箱にいっぱいの玉ねぎを入れて中学生がお手伝いをしています。地産地消をいつまでも。



『美しい花壇』 宇部市東岐波
大和正憲 (山口市)

環境にやさしい美しい道、社会が明るく、人の心も癒される。



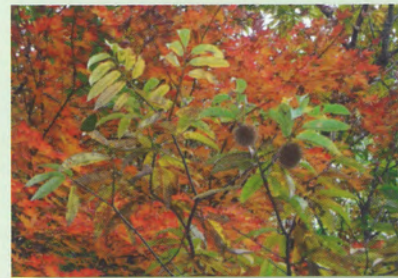
『麦踏み』 下関市豊北町
西島昭夫 (下関市)

雪の残る麦田。機械を使って麦踏み風景。



【かにとやどかり】 かわ戸海
入江恭平 (長門市・小学3年)

海にはかにとやどかりがたくさんいてほくはだいすきだからです。かにかがぶな虫食べていて、びっくりしました。



【もみじとくり】 自宅
木橋優子 (山口市・中学3年)

自分の家でなにかをとろうと思ひ、探すととてもきれいなもみじがあり、このもみじをとろうと思ひました。今まで見ていたもみじより、とてもきれいなもみじだと思ひました。もみじとくりをととてもきれいにすることができたのでよかったです。



【花と校舎】 屋代小学校
中西正人 (周防大島町・小学6年)

屋代小学校は、今年で閉校をします。自然がいっぱいの学校です。グラウンドで写しました。



【田万川に白鳥集合!】 田万川の川
岩本ゆい (萩市・小学4年)

理由は、初めてこの田万川に白鳥が来て、初めて白鳥を見れたからです。写して思ったことは、私達にだんだん近づいてきたので、き間に思いました。



【草むらの双子】 山口市徳地
澤田健太郎 (山口市・小学3年)

重源の郷の草むらにバッタがたくさんいて、あそんでいた時、ぐうぜん見つけた双子です。思わず写しんをとりました。



山口県地球人会議会長賞
【そろそろですか】 上関町室津
西本宗矢 (田布施町・中学2年)

釣れた魚をもらおうと、アオサギが待っています。おじさん「そろそろですか」。



優秀賞

【白鳥のダンス】 田万川温泉前の田
山田祐輔 (萩市・小学4年)

ほくは田万川で白鳥を見たのは初めてなので、とても感動しています。かわいいなき声を聞くことができうれしかったです。空気のきれいな田万川でゆっくり羽を休めてほしいです。



【おみこしをくぐって、
ねがいをかなえたい!】
下関市蓋井島

藤永翔大 (下関市・小学2年)

蓋井島の八まんさまの秋まつりです。おみこしの下をくぐると、ねがいがかなうと言われていいます。ほくも、百人一首がぜんぶおぼえられますようにとねがってくりました。



【みかんで元気もりもり】
祝島のみうら

蛭子みさき (上関町・小学5年)

いつも食べているみかんより、とてもきれいなオレンジ色のみかんだったので、収かしているところを写しました。

児童・生徒の部

第11回

食料・環境「水・土・人暮らし」
ふるさと写真コンテスト

Photography
contest

入賞作品のご紹介



【豊年ダンス】 宇部市東岐波
松永常男 (宇部市)

秋になると案山子は大活躍です。稲の守りから、それが済んだら天日干しの守りまで。アングルを変えて、ハゼかけの下から写してみました。



【元気で笑顔の農婦】 下関市豊北町
河野サエ子 (下関市)

清流栗野川で早朝、アノリ漁が行われ、元気で生き生きとした農婦に出会い、心が洗われました。



【でっかいぞ!!】 下関市菊川町
向井田稔雄 (下関市)

毎年、村のレクリエーションとして池干しが行われます。30~40名くらいの村人が一体となって、とても楽しい行事です。終わると、魚はまた池に放します。魚は年々大きくなります。



【作業が進む大根づくり団地】 萩市むつみ村
梅田正一 (周南市)

大根づくりのうね作りと種まき作業を上からねらってみました。



【代かき】 周南市戸田
井上 守 (防府市)

逆光に輝く水田。田植えに備え代かきに精を出す人物を点景に写しました。



【美竹林】 岩国市錦城橋上流
白本博彬 (岩国市)

岩国の美しさは、錦帯橋、春の桜だけではなく。美しい竹林内にも是非立ち寄りてみてはどうですか。



【清流に遊ぶ】 宇部市善和
内平和子 (宇部市)

小川にきれいなせせらぎがあり、仲むつまじく遊ぶ黒トンボ。これも水や草木が農薬などに汚染されていないので安心して子孫繁栄に動んでいられるのである。また、たくさんの生物たちが安心して繁殖できることを願ってやみません。



【落日に映える】 宇部市西岐波
広田和夫 (宇部市)

3匹の鮎が夕陽に晒されて冬の漁風情を感じました。2週間程、寒風に干され食するそうです。珍しい引張り鮎に心なりました。夕日だけの灯りで雰囲気大切にしました。

一般の部



入選

田んぼの役割を伝えていこう。

田んぼには、食べものを作るだけでなく、さまざまな役割があります。田んぼは、すべての人々にとって、大事な宝物であることを、次世代のために、あなたも広く伝えていきませんか。

(参考「こんなにすごい田んぼの役割」社団法人農村環境整備センター)



田んぼの役割 1 食べものをつくる

日本では近年、パンやお肉がたくさん食べられるようになり、お米以外の食料の多くを輸入に頼るようになりました。また、家畜の飼料や油の原料になる穀物は、大部分を輸入に頼っています。そうした中、日本の食料自給率は2002年、カロリーベースで40%まで落ち込みました。世界の人口は50年後には今の1.5倍になると予想され、もっと多くの食料が必要になると考えられます。さらに、移ろいやすい世界の経済・社会状況も考えると、日本の食料の確保を輸入に依存することには、大きな不安があります。

また、安心できる食べものが欲しいというニーズも高まり、国内で作られる農産物が今、あらためて見直されています。

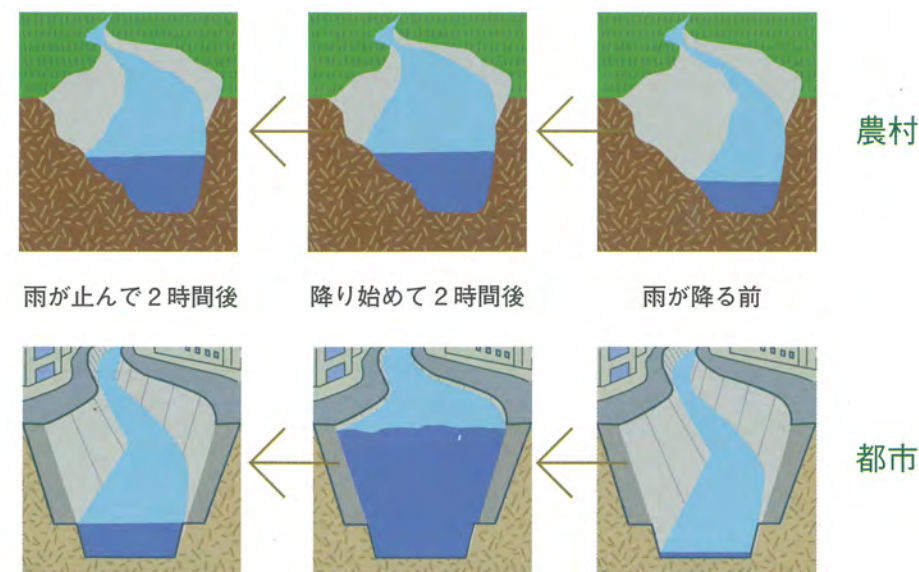
田んぼの役割 2 災害を防ぐ

日本の国土の70%は山地です。そのため大雨が降ると、川の水は山からの雨を集めて滝のように流れます。梅雨や秋の台風による大雨も多く、日本の国土は常に洪水や土砂崩れの危険をはらんでいます。

そうした中、田んぼは雨水をダムのように貯め、長い時間をかけて下流に流すことによって川の水量を抑え、洪水や土砂崩れなどの自然災害を防ぎ、下流の人々の生活を守っています。

役割 2 「川に流れる水の量を調整します」

都市部では、雨が降ると急激に川の水量が増えるため、住宅浸水の被害につながりやすいといえます。



田んぼの役割 7 文化を伝える

日本人は古くから自然の力に感謝するとともに、災害に悩まされることなく豊作となるよう、祈りを込めて、さまざまな祭りや伝統芸能を行ってきました。

また、農作業や祭りを協力して行うことで、地域の人々の間には、助け合う心がはぐくまれてきました。

こうしたかけがえない文化も、受け継ぐ人々がいてこそのこと。日本の多くの伝統文化は、田んぼがあることによって脈々と守られてきたといえます。

田んぼの役割 8 心と体を元気にする

田んぼが広がる農村には、都市部にはない自然との触れ合いや、歴史・伝統文化との出会いがあります。心とからだを元気にしてくれる農村の大切さを今、あらためて見直そうという動きが子どもから大人、定年後の人々の間にも高まりつつあります。

田んぼを守るために、できることを広げていこう。

- ◎ お米をもっと食べよう。
- ◎ 祭りに参加しよう。
- ◎ 子どもたちに農業の大切さを伝えよう。
- ◎ つくる楽しさや喜びを伝えよう。
- ◎ 都市と農村の交流やスローツーリズムを進めて、田んぼの役割を理解してもらおう。

田んぼの役割 3 水をはぐくむ

田んぼにためられた雨水は、ゆっくりと地下にしみこみ、地下水を潤し、伏流水となつて下流域での水利用を豊かにします。こうして水がゆっくりと循環することで、川や地下水の水量を安定させることにもつながっています。

つまり、田んぼは水をはぐくむ「水源かん養」の機能を持っているのです。

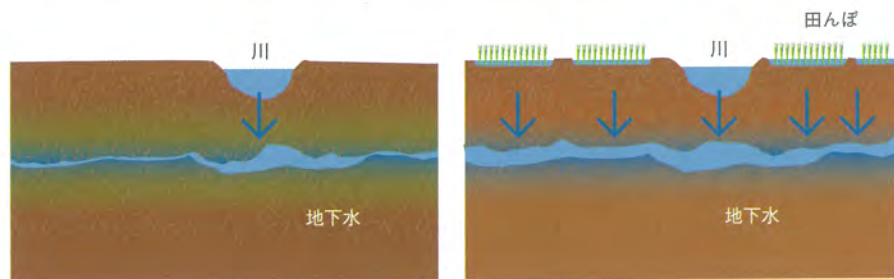
田んぼの役割 4 環境を守る

水中の有機物は田んぼの土の中の微生物によって分解され、窒素が作られます。その窒素は栄養分として稲に吸収されることで水はきれいになり、さらに土のフィルターによつてろ過され、もつときれいな地下水が作られていきます。また、稲は光合成によつて二酸化炭素を酸素に変えるため、空気もきれいになります。

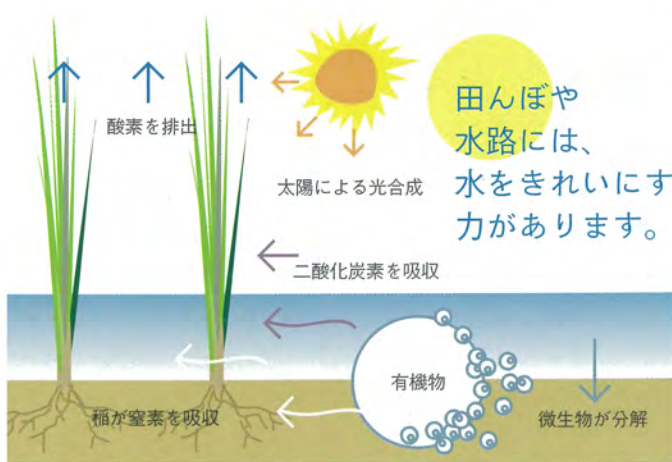
さらに田んぼがあると、その水が太陽によつて蒸発したり、農作物が光合成したりすることで気温を下げ、夏の暑さを和らげます。それに対して都市部では、夏の気温のさらなる上昇が見られ、田んぼとの温度差は5℃以上になることもあります。

田んぼには、このように水や空気をきれいにしたり、気候を和らげたりする力があるのです。

【田んぼの水が地下水を豊かにしています】



田んぼや水路には、水をきれいにする力があります。



田んぼの役割 6 美しい風景を保つ

四季によつて表情を変えていく田んぼ。先人が土地を拓き、累々と石垣を築き上げ、子孫のために汗水を流しながら命の糧を作り、守り続けてきた田んぼ。その美しい景観は、そこで生活する人々だけでなく、そこを訪れる都市部の人々の心にも安らぎや温もりを与えてくれます。

田んぼの役割 5 生きものをはぐくむ

田植えの時期が近づき、田んぼに水が流れ込むと、魚をはじめさまざまな生きものが集まってきます。田んぼで生まれた生きものは秋、稲刈りの前になると水路を通じて川や池に帰っていったり、カエルなどは土の中に潜って冬眠したりします。

田んぼは、水路や畦畔、里山とともに多様な環境を構成し、さまざまな生きものをはぐくむ場ともなっているのです。



のんた Photo Column vol.12



たとえば、陽光のきらめき

水面をわたる風

葉先から滴り落ちる雨粒

実りはぐくむ大地

光と風と水と土。

自然の力が生命をつなぐ

発行

食料・環境・ふるさとを考える

山口県地球人会議 事務局

〒753-0079 山口県山口市糸米2丁目13番35号 水土里ネット山口 山口県土地改良事業団体連合会内
TEL:083-933-0033 FAX:083-933-0048 URL:<http://www.yamadoren.or.jp/>

この用紙には、再生紙を使用しています。



印刷インキは、環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。